

国・県・市で確認した標識類の整備方針

1 総合案内標識

屋島全体を案内する標識であり、南嶺では駐車場や屋島山上拠点施設（ビクターセンター）への設置を想定している。外国人の利用に対応するため、5 か国語（日本語、英語、中国語(繁体)、中国語(簡体)、韓国語）を表記する。

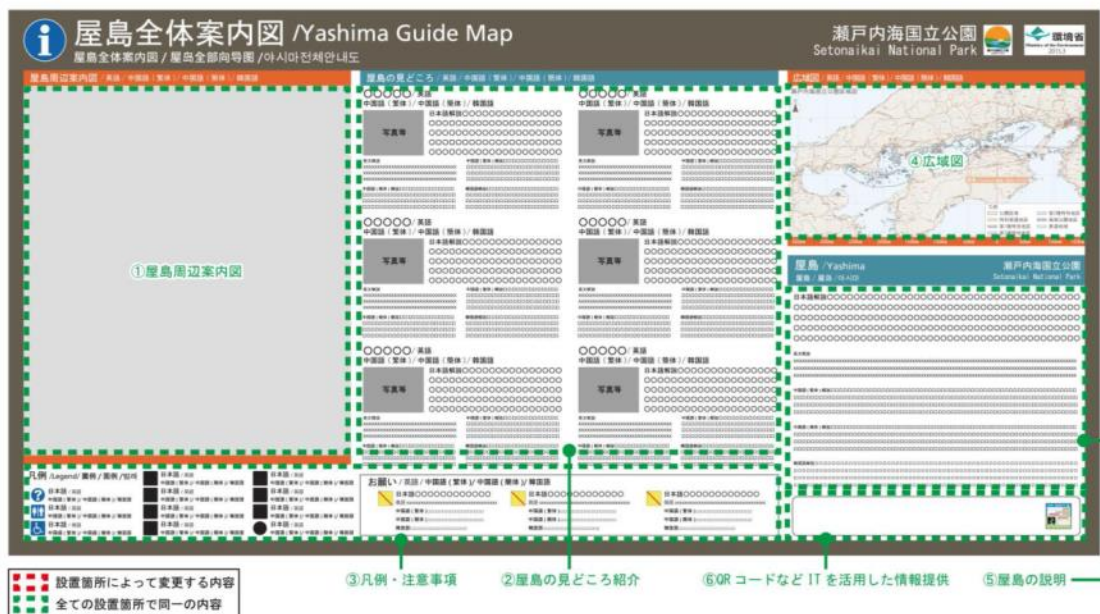


図1：駐車場に設置する板面レイアウトのパターン

表8：レイアウト構成

構成	内容
① 屋島周辺案内図	屋島全域と屋島周辺の主要な施設を案内する地図。案内の対象とする範囲は図3(p.11)参照。
② 屋島の見どころ紹介	対象地の見どころを数箇所ピックアップして紹介。
③ 凡例・注意事項	①②の地図内において使用するピクトグラムと、対象地内における注意事項の説明。
④ 広域図	広域的に対象地の位置関係を案内する地図。案内の対象とする範囲は瀬戸内海国立公園とする。
⑤ 屋島の説明	屋島についての説明。
⑥ QRコードなどITを活用した情報提供	QRコードやARによる多面的な情報の提供。

2 案内図標識

北嶺・南嶺それぞれのエリアの要所においては、エリアごとの興味対象地点やアクセス経路を、それぞれの案内図により示す。外国人の利用に対応するため、5 か国語を表記する。





3 解説標識

視対象の解説標識については、タイプを使い分ける。外国人の利用に対応するため、5 か国語を表記する。



4 誘導標識

誘導標識は、案内する箇所数に応じてレイアウトを変更する。また、外国人利用に関しては、板面レイアウトが煩雑にならないように2か国語（日本語、英語）表記とする。

国から魅力ある屋島再生協議会の情報発信・施策調整部会に意見聴取の依頼があったので、部会から材質として庵治石の採用について、提案した。



5 資源名標識

資源名標識には国立公園名や地名・展望台名、屋島北嶺・南嶺のエリア名等を表記する。



6 路面サイン

路面サインは、北嶺-南嶺連絡歩道の魅力づくりとして、歩行者が移動の途中に楽しむことができるように、対象地までの距離と、自然解説(北嶺の動植物、野鳥)等の情報をレイアウトする。

